

三原市久井歴史民俗資料館

vol.8

モーモー通信



新しい年のはじまりです！



あけましておめでとうございます。昨年も資料館をご利用いただきましてありがとうございます。今年は「丑年」ということもあり、牛が主役ですね。資料館には「久井の牛市」をテーマにした展示室も設けています。今年はたくさんの人にもっと身近に感じていただける資料館をめざし、より前進したいと思います！ぜひご来館ください。



モ〜寒い！レトロなエコ暖房

資料館に展示している、昔のあたたまる道具をご紹介します！

【火 鉢】

炭を入れて炭火をおこします。火力はそれほど強くなく、火鉢のまわりをあたためる程度です。湯を沸かししたり、もちを焼いたりするのに使われました。昭和37（1962）年頃から石油ストーブが登場し、あまり見かけなくなりました。



【やぐらこたつ】

火のついた炭や豆炭を、木製のやぐらの中の火入れに入れ、ふとんをかけて使います。やぐらごとで持ち運び、好きな場所に置くことができました。昔のこたつには、テーブル板がありませんでした。



【安全こたつ】

「回転こたつ」ともいいます。こたつという名前ですが、主に夜ふとんの中に入れて使います。六角形のやぐらの中に金属性の火入れが取り付けられています。この火入れは、寝ぼけて蹴飛ばしても火事にならないように、くるくる回転し、いつも上を向くしくみになっています。



【湯たんぽ】

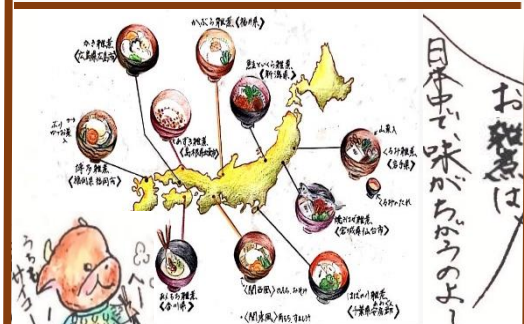


中に熱い湯を入れて、ふとんの中の足元に入れてあたたまります。江戸時代に中国から伝わったとされ、金属製や陶製があり布に包んで使います。

【行火】



行火にはいろいろな種類があります。←資料は、土製の枠の中に炭火の入った火入れを入れて、上からふとんをかけて使います。側面に穴があり、下段の一方は火入れの出し入れ口になっています。天井がある2段式で、布に伝わる熱をやわらげています。



～ おしらせ～

ステキな門松です！

コミセン管理指導員さんが、心をこめて門松を作ってくださいました。年末年始、年神様の目印といわれる門松が、みなさまをお出迎えしてくれました。

今年も良い年でありますように♪



みてね



★「モーモー通信」はHPでもご覧いただけます★

調べよう！みはらコレナンダ？(子ども向け)

<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/soshiki/50/104083.htm>

つづきは資料館で...

〒722-1303

三原市久井町下津 1397

三原市久井歴史民俗資料館

TEL・FAX 0847-32-7139

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌日休館)、年末年始

アクセス 中国バス久井中停留所下車

いあんない図

